

# 地域内の耕畜連携による自給飼料生産から広域流通

(高知県：南国市耕畜連携協議会)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

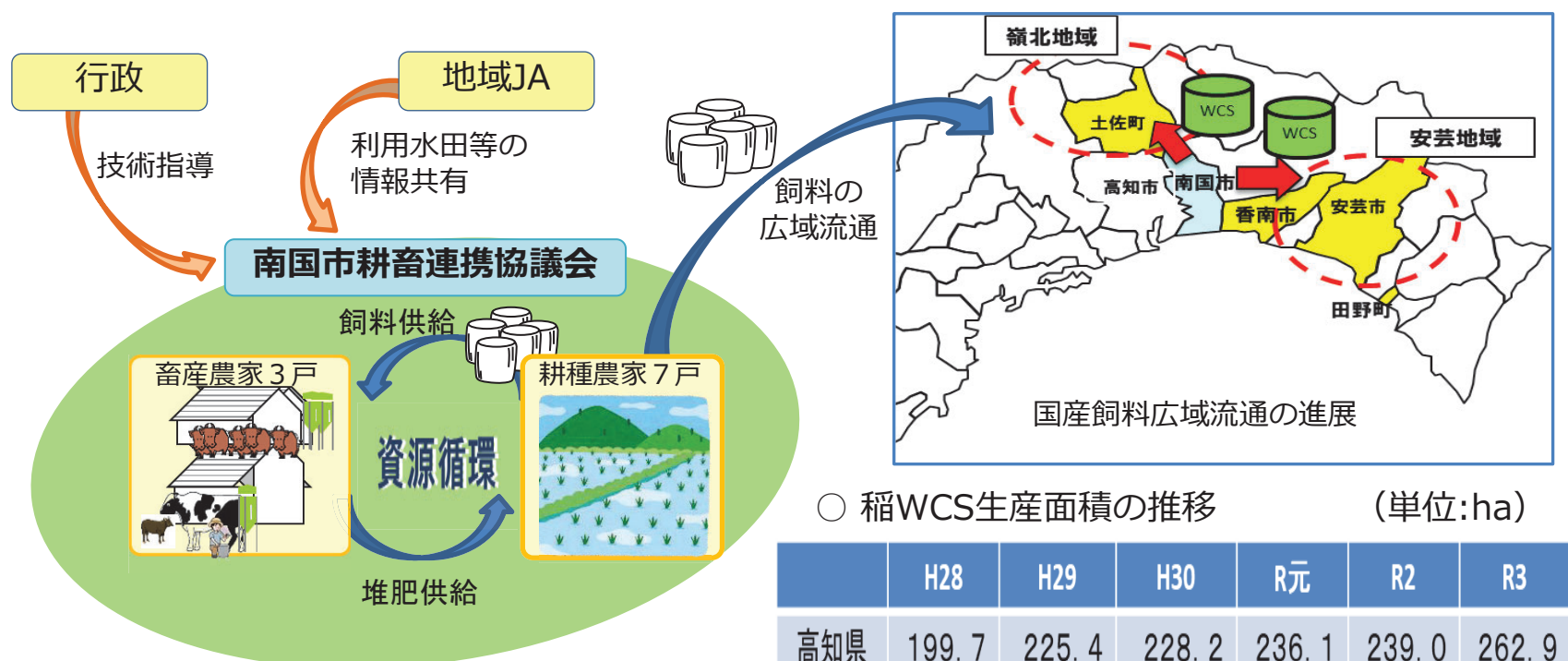
- ・所在地：高知県南国市
- ・代表者：武市 憲雄
- ・構成員：耕種農家7戸、畜産農家3戸  
(取引先：畜産農家9戸)
- ・飼養頭数：乳用牛82頭、肉用牛89頭  
(取引先飼養頭数：乳用牛69頭、肉用牛875頭)
- ・飼料作物作付面積：51.8ha (稲WCS)



稲WCS収穫作業

### <取組について>

- 概要
  - ・ 輸入飼料価格の高騰を機に、県内の酪農や稲作の主要地である南国市において、耕種農家が飼料稲を栽培・収穫・調製、酪農家が運搬・保管、給与する取組を開始。
  - ・ 平成27年に耕種農家7戸と畜産農家4戸で南国市耕畜連携協議会を設立し、県の補助事業を活用し稲WCS専用収穫機を導入。耕種農家が生産した稲WCSを畜産農家が利用する体制を構築。
  - ・ 稲WCSは平成28年の26.6haから令和3年の51.8haと生産拡大が進展。
- 成果
  - ・ 水田で生産した稲WCSを牛に給与し、牛の堆肥を活用して稲WCSを生産する、耕畜連携を通じた資源循環型農業を構築。
  - ・ 生産拡大の進展とともに、稲WCSの利用農家が南国市から嶺北地域の土佐町から安芸地域の香南市、安芸市、田野町に広がり、国産飼料の広域流通の取組を実装。



○ 稲WCS生産面積の推移 (単位:ha)

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
高知県	199.7	225.4	228.2	236.1	239.0	262.9
協議会	26.6	37.2	37.8	45.2	44.4	51.8